

家族の防災会議

災害はいつ襲ってくるかわかりません。家族の安全を確保し、被害を最小限に抑えるために、日頃からの準備が必要です。家族そろって防災について話し合い、災害から身を守りましょう。また、万が一のために、家の内外を点検してください。

家族一人ひとりの役割分担

日頃の防災の役割と、災害が起きた時の役割を決める。

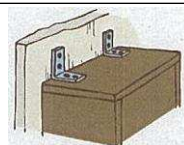
- ①火の始末 ②出口の確保 ③非常持出品の確認 ④隣近所への連絡

家屋の安全確認

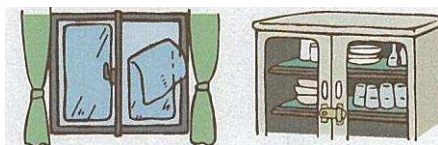
家の中に安全な空間をつくる、安全な避難経路を確保する

○ 家具が倒れたり、モノが落ちてこないように固定する。

タンス・本棚などは、『L字金具』などで固定し、2段重ねの場合は、つなぎ目を金具で連結する。衣類や本は重いものを下に、軽いものを上に置く。



窓ガラスや食器棚のガラスに『飛散防止シート』を貼る。また食器棚には『滑り止めシート』や扉に『止め金具』を付け、食器類の飛び出しを防ぐ。



*家具の上には、テレビやガラス製品などは置かない。

○家の周りの確認

《ブロック塀》

ひび割れや破損を点検する。



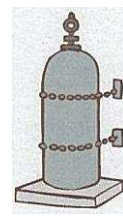
《ベランダ》

鉢植えや物干し竿など落下物を整理する。



《ガスボンベ》

ガスや灯油貯蔵タンクが転倒しないように鎖で固定。



非常持ち出し品

日頃からの備えが必要。避難するとき持ち出す最小限の必需品をコンパクトに整理してあるか？賞味期限は大丈夫か？ (⇒P13)



災害時の連絡方法や避難所

災害時、家族が離ればなれになったときの連絡方法や避難所を確認しておく。(⇒P14)

